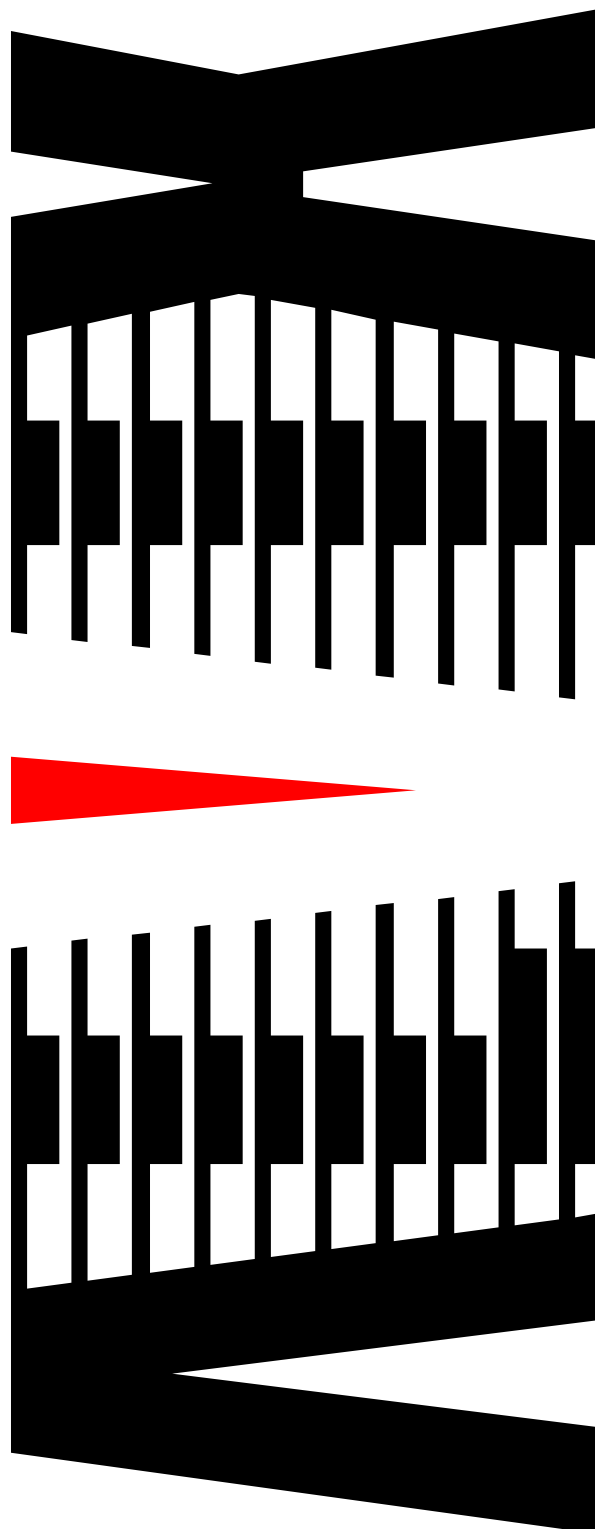


“アルピクス”音声モード検知装置

AMD-9

取扱説明書

Ver.0.0



御使用前に必ず本取扱説明書をよく読んで理解して、
安全の為に指示に従って下さい。

もし、不明点があれば販売店か弊社におたずね下さい。

目 次

| | ページ |
|-----------------------------------|-----|
| 1. 主な機能と特徴 | 2 |
| 2. 仕様 | 3 |
| 3. 各部の名称と機能..... | 4 |
| 4. 接続方法 | 5 |
| 4-1 接続方法例 (TS×1、SDI×8入力の場合) | 5 |
| 5. Webブラウザによる設定 | 6 |
| 5-1 メインページ/メニュー..... | 6 |
| 5-2 Trap送信先IPアドレスの設定..... | 7 |
| 5-3 NTPサーバの設定..... | 8 |
| 5-4 IPアドレスの設定・変更 | 9 |
| 6. IPアドレスの初期化 | 10 |
| 7. オプション | 11 |

御使用上の注意事項

必ずお守り下さい（安全にお使いいただくために）

警告

- ◇ 内部に液体をこぼしたり、燃え易い物や金属類を落としてはいけません。
（火災や感電、故障の原因となります。）
- ◇ 煙が出たり、異常音、臭気などに気が付いたときは、すぐに電源コードを抜いて販売店に御連絡下さい。

注意

- ◇ 電源プラグの接続が不完全なまま使用しない。
（感電やショート、火災の原因となります。）
- ◇ 電源コードを引っ張ったり、重いものをのせたりしない。
（電源コードが損傷し、火災や感電の原因となります。）
- ◇ 電源コードを引っ張ってコンセントから抜かない。
（感電やショート、火災の原因となります。）
- ◇ 仕様にて規定された電源電圧以外では使用しない。
（火災や感電の原因となります。）

お願い

- ◇ 風通しの悪い所に置いたり、布などで通風孔を塞いだりしないで下さい。
（故障の原因となります。）
- ◇ 次の様な所には置かないで下さい。
湿気が多い所、油煙や湯気の当たる所、直射日光の当たる所、熱器具の近く
埃が多い所、強い磁気のある所、極端に寒い所、極端に暑い所、激しい振動のある所、安定しない台の上、傾いた所
（故障の原因となります。）

1. 主な機能と特徴

- ◇HD/SD-SDIのVANCに重畳された音声モード/画角情報 (ARIB STD-B39) または、DVB-ASIのストリームに含まれる音声モード/画角情報 (ARIB STD-B32) を外部に通知する装置です。
- ◇SD-SDI信号入力の場合は、VBIに重畳された音声モードも取得することが可能です。
- ◇DVB-ASI信号入力の場合、MUXされているすべてのストリームの音声モードを取得します。
- ◇DVB-ASI信号とそれと相関関係のあるSDI信号を入力することで、上位システムで相互の音声モードを比較し整合/不整合を判別することが出来ます。
- ◇SNMP設定は、ブラウザから設定可能です。また、NTPによる自動時刻補正機能により時刻設定が可能です。
- ◇入力信号取得項目
 - <HD/SD-SDI>
 - ・ 音声モード
 - ・ 映像フォーマット
 - ・ 画面アスペクト比
 - ・ フレームレート
 - ・ 字幕有無
 - ・
 - <DVB-ASI>
 - ・ プログラムナンバー
 - ・ 音声PID
 - ・ 音声フォーマット
 - ・ 音声モード
 - ・ 映像PID
 - ・ 映像フォーマット
 - ・ 画面アスペクト比
 - ・ フレームレート
 - ・ 字幕有無

2. 仕様

- ◆入力
 - 系統 : 9系統
※9系統ともにDVB-ASI、HD/SD-SDI信号の
区別無く入力が可能です。
 - 入力接栓 : BNCコネクタ

- ◆SDI信号入力
 - 信号形式 : SD SMPTE259M-C 480i [D1]
HD SMPTE292M 1080i
 - 音声モード/画角情報取得 :
ARIB STD-B39
(SDの場合、VBIの音声モード取得可能)
 - 字幕取得 : ARIB STD-B37

- ◆DVB-ASI信号入力
 - 信号形式 : DVB-ASI
 - 音声モード取得 : ARIB STD-B32

- ◆取得インターバル
 - 入力された信号を巡回して、音声モードを読み取ります。
 - 取得インターバルは最短で1秒ですが、入力信号数及び
MUXプログラム数、音声TS数により、インターバルは変化します。
 - (※ TS×1入力/SDI×8入力時の取得インターバル:約10秒以下)

- ◆音声モード比較
 - DVB-ASI、HD/SD-SDI間の音声モードを比較する場合、
上位システムで整合/不整合の判定を行う必要があります。

- ◆外部通知
 - 通信仕様 : 100BASE-TX/10BASE-T 対応 LAN インタフェース
 - プロトコル : SNMP
 - コネクタ : RJ-45モジュラ

- ◆外形寸法 : W215 × H44 × D485 mm
(突起部を含まず)

- ◆質量 : 約2.3kg
- ◆電源電圧 : 100V±10% AC 50/60Hz
- ◆消費電力 : 約25W
- ◆使用温度 : 5℃ ~ 40℃

3. 各部の名称と機能

＜筐体フロントパネル、リアパネルの機能＞

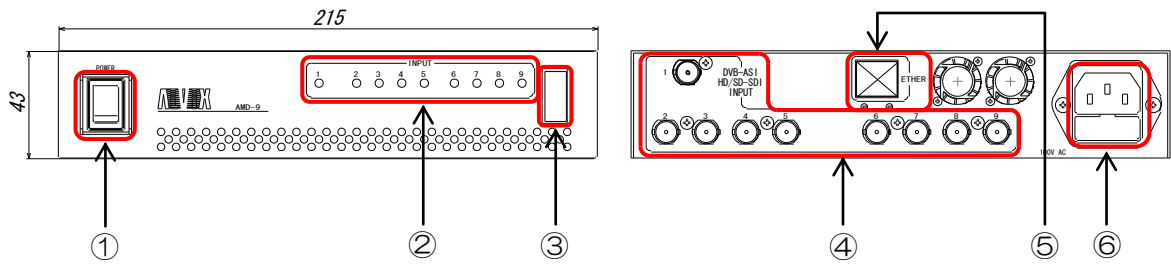


図 3.1 外観図

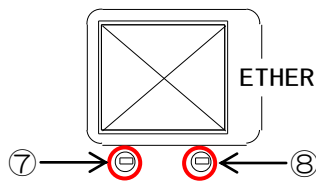


図 3.2 LAN 拡大図

① 電源スイッチ

本機器の電源ON/OFFを行います。

② 状態検知LED

現在の入力状態をLEDで確認できます。

| | |
|---------|-----------------|
| HD-SDI | 緑点灯 |
| SD-SDI | 緑点滅 (3秒点灯、1秒消灯) |
| DVB-ASI | オレンジ点灯 |
| 映像入力無し | 赤点滅 (3秒点灯、1秒消灯) |

③ ハードウェアメンテナンスコネクタ

内部FPGA書換用コネクタです。通常使用しません。

④ DVB-ASI or HD/SD-SDI入力コネクタ

DVB-ASI or HD/SD-SDIを入力します。

⑤ LAN

LANインターフェースコネクタです。

⑥ AC入力

本機の電源入力 (3Pインレット) です。

⑦ IPアドレスリセットボタン

このボタンを押しながら電源を投入するとデフォルトのIPアドレス (192.168.200.254/24) で起動されます。

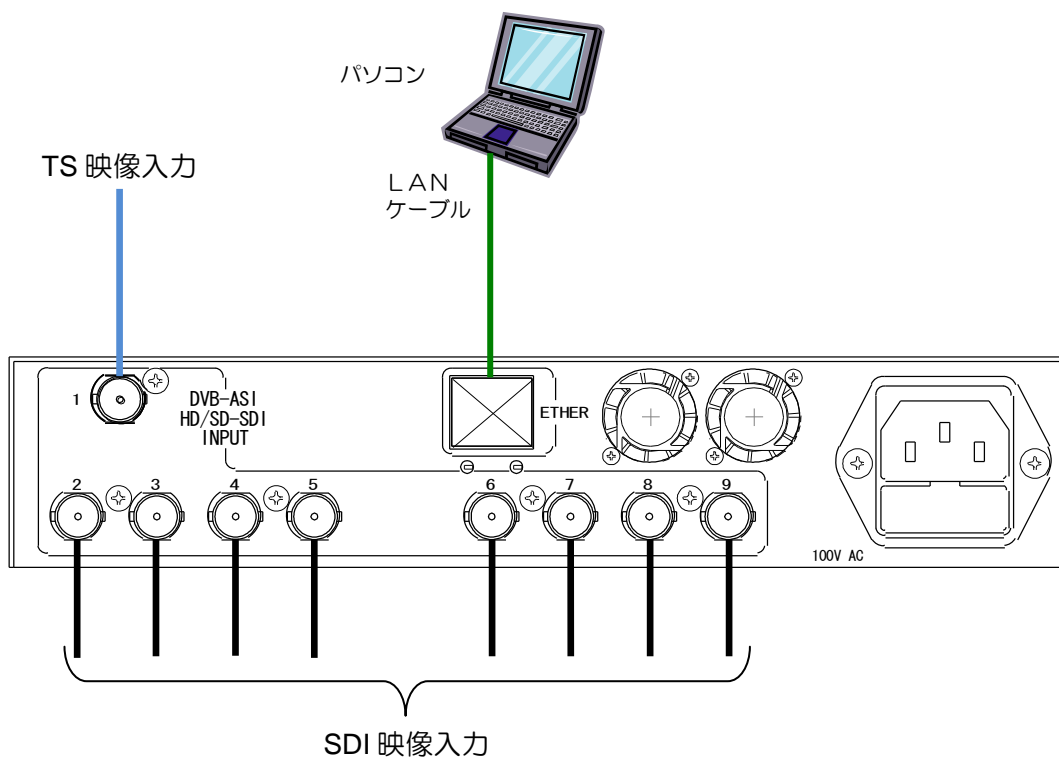
⑧ リセットボタン

機器が再起動されます。

4. 接続方法

4-1 接続方法例（TS×1、SDI×8入力の場合）

1. 映像信号を本機に挿入します。
2. パソコンと装置を接続します。
3. パソコンを使用した装置の設定については、「音声モード検知装置監視サーバー操作説明書」をご覧ください。



5. Webブラウザによる設定

- ◇ 本装置はWebブラウザを使用し、IPアドレス、Trap送信先等を設定することができます。

5-1 メインページ/メニュー

- インターネットエクスプローラーを起動し、アクセスしたい機器のIPアドレスを入力します。

※出荷時のIPアドレスは「192.168.200.254」となっています。

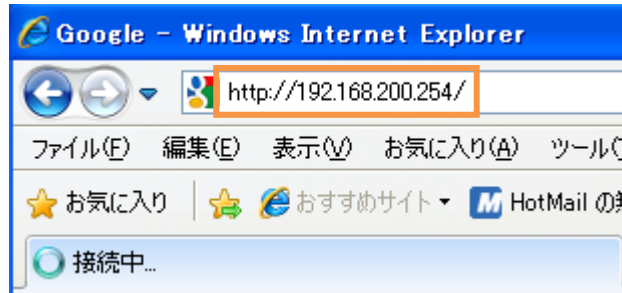


図 5-1-1 URL入力

※ PCのOSがWindowsXP サービスパック 2 以降/WindowsVista/Windows7 の場合は、ソフトの起動前に Windows ファイヤーウォールを無効に設定して下さい。Windows ファイヤーウォールが有効の場合、正しく設定されない場合があります。

- ログインが完了すると、メニューとメインページを表示します。

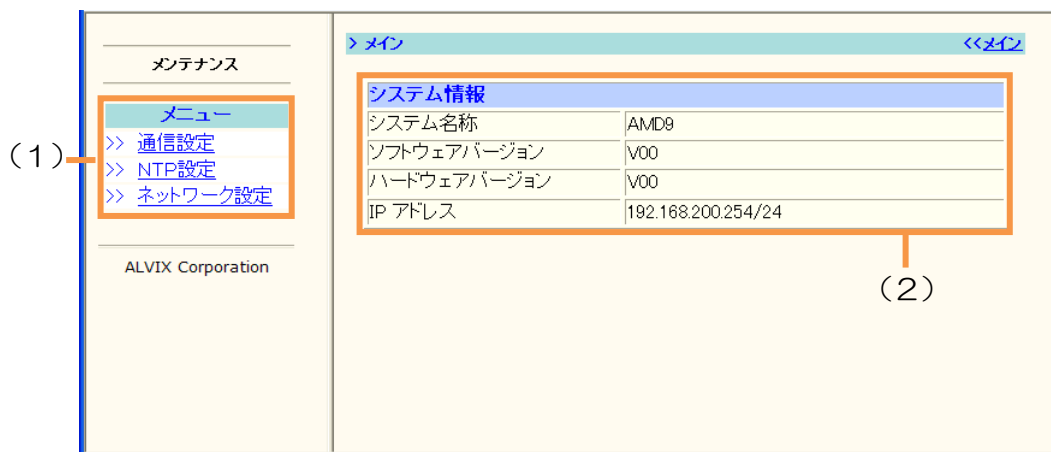


図 5-1-2 AMD-9 メイン画面

- (1) メニュー
 - ① 通信設定 …… コミュニティの変更、トラップ送信先の設定が行えます。
 - ② NTP設定 …… NTPサーバ、更新間隔の設定が行えます。
 - ③ ネットワーク設定 …… 機器のIPアドレスの設定が行えます。
- (2) システム情報の表示
 - ④ 機器のシステム名称、ソフトウェアバージョン、IPアドレスを表示します。

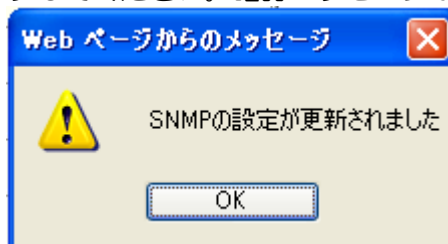
5-2 Trap送信先IPアドレスの設定

◇ 機器の監視を行うためのSNMPを設定します。

(1) メニューより「通信設定」をクリックして下さい。

図 5-2-1 SNMP設定

- (1) 任意のコミュニティ名を設定してください。
 - 半角英数30文字以内で設定できます。
- (2) トラップ送信先のIPアドレスを設定してください。
 - 送信先アドレスは10個まで設定できます。
 - ※TRAP 上げ先へ存在しないIPアドレスは設定しないでください。
機器のパフォーマンスが著しく低下する原因となります。
- (3) をクリックしてください。確認メッセージが表示されます。



- (4) 設定完了後、機器の電源のON/OFFを行い、機器の再起動を行ってください。

5-3 NTPサーバの設定

◇ 機器の時刻を設定できます。

(1) メニューより「NTP設定」をクリックして下さい。

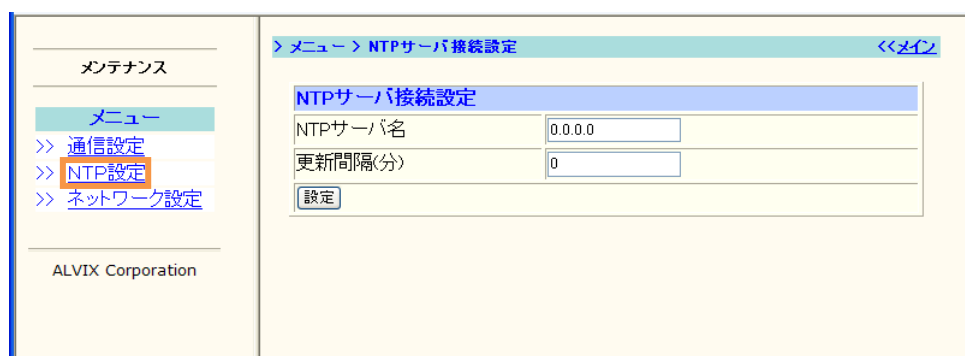


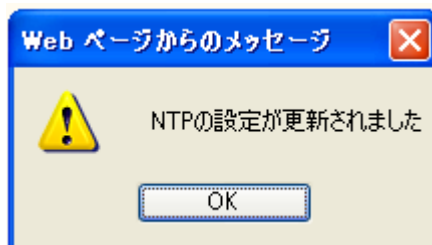
図 5-3-1 NTP設定

(2) NTPサーバ設定を行うことで、NTPサーバより時刻同期を行うことができます。

① NTPサーバ名を入力してください。
■ NTPサーバのIPアドレスを指定します。
■ <0.0.0.0>を設定した場合、時刻同期は無効となります。

② 更新間隔を入力してください。
■ NTPサーバへアクセスする間隔を指定します。
■ <0>を設定した場合、時刻同期は無効となります。

③ **設定** ボタンをクリックしてください。確認メッセージが表示され、設定が有効になります。



(3) 設定完了後、機器の電源のON/OFFを行い、機器の再起動を行ってください。

5-4 IPアドレスの設定・変更

- ◇ 機器のIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイの変更ができます。
※出荷時のIPアドレスは「192.168.200.254」、ゲートウェイは「0.0.0.0」となっています。

(1) メニューより「ネットワーク設定」をクリックして下さい。

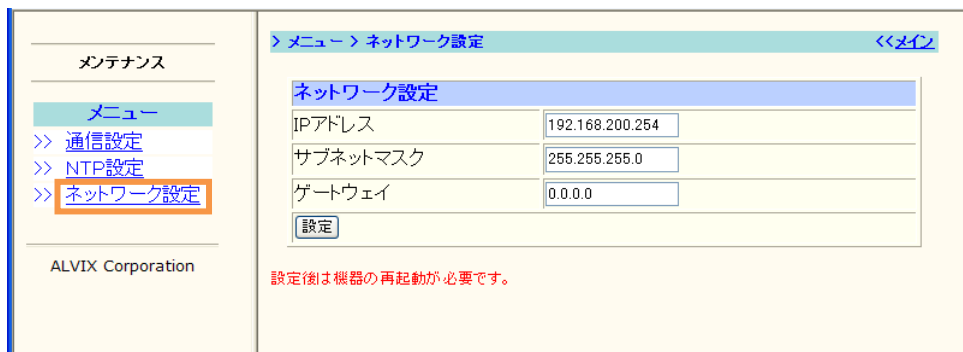
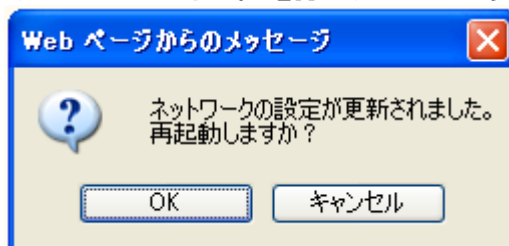


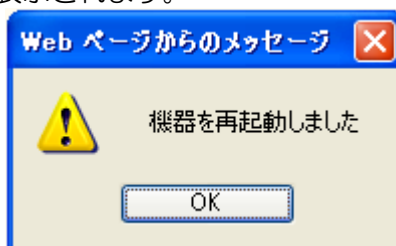
図 5-4-1 ネットワーク設定

(2) 変更したいIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを入力します。

(3) をクリックしてください。確認メッセージが表示されます。



(4) をクリックして、機器を再起動してください。確認メッセージが表示されます。



6. IPアドレスの初期化

◇機器のIPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイをデフォルト状態で起動することができます。

※デフォルトのIPアドレスは「192.168.200.254」、サブネットマスクは「255.255.255.0」、ゲートウェイは「0.0.0.0」となっています。

- (1) 本機電源を切ります。
- (2) IPアドレスリセットボタンを押しながら、電源を投入してください。
IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイがデフォルトで起動されます。
※IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイはデフォルトには設定されません。

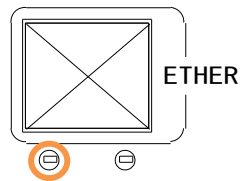


図 6-1 IPアドレスの初期化

7. オプション

◇本装置を最大2台設置できる、専用の1Uラックプレートがあります。

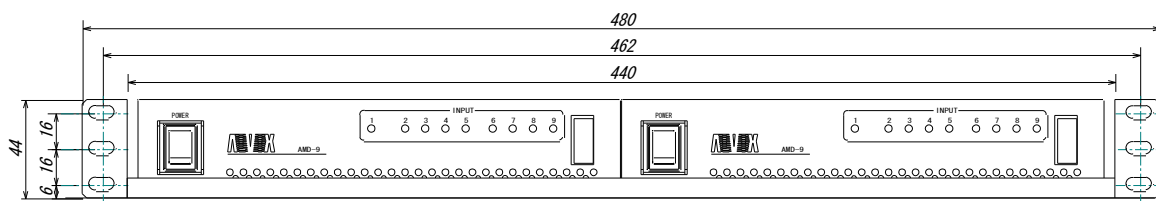


図 7-1 1Uラック搭載図

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品についてのアフターサービスは、お買い上げの販売店におたずねください。

なお、販売店が不明の場合は弊社へお手数でもご連絡ください。

故障・保守サービスのお問い合わせは

販売店：

TEL
担当

製品の操作方法に関するお問い合わせは

無断転載禁止

アルビクス株式会社

〒959-0214

新潟県燕市吉田法花堂1974-1

TEL：0256-93-5035

FAX：0256-93-5038